

令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

I. 事業活動

概況

令和4年度は、新型コロナウイルスによる感染が依然続くものの、ワクチン接種が進みウイルスとの共生が模索され、人々が社会活動を再開する動きとなりました。一方ロシアによるウクライナ侵攻が1年を経過し、原油や食料価格が高騰するなど世界的に物価の上昇を招き、米国では金融引き締めによる金利引き上げが続き、為替市場ではドル高が進み、世界の金融市場に大きな影響を与えるところとなりました。しかしながらインフレ抑制には至らず、さらには期末にかけ米国の銀行破綻がEUにも飛び火するなど、金融システム不安が表面化し、世界経済や金融市場の先行きが一層不透明な状況となりました。

このような状況下、今年度は、当法人の主要な収入源である基本財産の株式配当金は、112,582千円で前年度比44,350千円の大幅な増加となりました。また特定資産の運用では、為替が円安で推移したこともあり、一部の債券を売却し益を計上しましたが、金利の上昇に伴う債券価格下落や円相場の乱高下により評価損を計上するところとなりました。

次に経常費用は54,765千円で、このうち在籍生50名に対する奨学金の支給額は30,780千円となり、院生の増加等により、前年度比2,420千円増加しました。また補導費の支出は5,102千円で、会誌の発行を行ったほか、奨学生の集い、新奨学生歓迎会及び卒業生歓送会ともにコロナ禍以前と同様の規模で開催したことから、前年度を上回りました。この結果、経常費用総額としては、前年度を上回りました。

また資産面では、基本財産の時価が大幅に上昇し評価益を822百万円計上し、特定資産も増加しました。この結果正味財産合計は3,702,012千円と前年度比880,074千円増加しました。

1. 奨学金支給事業

(1) 奨学金の給付

育英事業の中心である奨学金は、毎月口座振込により給付しました。また奨学生の状況確認を目的とする面談はオンラインで行ない、近況報告を受け指導助言を行いました。

	給付人数	給付額（年額）	うち新奨学生	1人当たり給付額（月額）
大学生	40名	22,500千円	11名	5万円
大学院生	10名	8,280千円	-	7万円
合計	50名	30,780千円		

(注) 1. 給付人数には、期中に奨学金を停止、または再開した学生を含み、留年の学生を除いております。

2. 大学の早期卒業制度により、期中に大学院に進学した学生1名は、大学院生の給付人数に含めております。

3. 6年生大学の5及び6年生は大学院生に含めております。

(2) 奨学生の採用

新奨学生の採用につきましては、推薦を依頼した各大学より11名の学生が推薦されました。令和4年6月に当財団の奨学生選考委員会を選考し、11名全員を奨学生として採用しました。

また大学院生につきましては、奨学金継続を希望する学生7名が再選考の上採用されました。

	大学生	継続大学院生	採用人数計
採用人数	11名	7名	18名

(注) 令和4年度採用奨学生の推薦大学は、次の通りです。

国立大学：京都大学、東京大学、東北大学、一橋大学、山梨大学

私立大学：青山学院大学、慶應義塾大学、上智大学、中央大学、早稲田大学

2. 交流事業

(1) 第1回奨学金給付式及び新奨学生歓迎会

令和4年度は11名の新奨学生を迎え、事務所において第1回給付式を行いました。給付式後、在籍生も含めバス・ツアーを行い、赤坂離宮迎賓館及び日本科学未来館を見学の後、歓迎と懇親の夕食会を開催し交流しました。

(2) 北澤育英会会誌の発行

北澤育英会会誌第47号を令和4年11月に発行しました。新たに奨学生となった学生を含む在籍生及び令和3年度卒業生及び社会で活躍している先輩卒業生、役員に寄稿を頂きました。令和4年度採用奨学生の第1回給付式及びその後の懇親会の様子、令和3年度のコロナ禍による在籍生のみ参加による奨学生の集いの様子や卒業生のみ限定した歓送会の様子について紹介しました。また本誌を奨学生及びその保護者、卒業奨学生、奨学生在籍校、交流のある育英団体さらに当法人の関係先等に送付し、当法人に対する支援と理解を深めて頂けるよう努めました。

(3) 「第47回奨学生の集い」開催

「第47回奨学生の集い」は、令和4年12月に、京王プラザホテルでコロナ禍以前と同様に来賓をお招きし約100名が参加し開催しました。また関連する海外奨学基金の留学生もお招きし交流しました。奨学生が互いに交流する機会が少なかったことから、ゲームや食事なども楽しみ、和やかに過ごしたことで、大変好評でした。今回も3年生の幹事団が開催の準備、当日の運営を担当しました。

(4) 「卒業生歓送会」開催

令和4年度の卒業奨学生を送る「卒業生歓送会」は、令和5年3月に、卒業生に加え出席を希望する在籍生も参加して、社会への門出を祝いました。卒業生8名中5名を含む20名が参加し、育英会の思い出などを語り和やかな会となりました。また記念に全員色紙に思いを書き込み、卒業生には記念品を贈呈しました。

II. 管理活動

1. 届出事項

届出年月日	届出事項（届出先）
令和4年6月30日	令和3年度の事業報告等の提出（内閣府）
令和5年3月28日	令和5年度の事業計画書等の提出（内閣府）

2. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
令和4年5月31日	(決議事項) 1. 令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録の承認の件 2. 令和4年度定時評議員会招集及び附議事項承認の件 (報告事項) 理事長及び常務理事の業務執行報告	可決 可決
令和4年6月16日	(決議事項) 令和4年度採用奨学生承認の件 (報告事項) 理事長及び常務理事の業務執行報告	可決
令和5年3月17日	(決議事項) 1. 「令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の事業計画書及び収支予算書等」案の承認の件	可決

開催年月日	決議事項	結果
	2. 基本財産株式の議決権行使の件 (報告事項) 理事長及び常務理事の業務執行報告	可決

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
令和4年6月16日	(決議事項) 第1号議案 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録の承認の件 (報告事項) 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の事業報告	可決

(3) 奨学生選考委員会

開催年月日	内 容
令和4年6月16日	(審議事項) 1. 令和4年度の新奨学生選考の件 2. 令和4年度継続奨学生選考の件

(4) 役員等の職務等に関する事項

役 職	氏 名	就任年月日	給与	勤務
理 事 長	清 水 雄 輔	令和3年6月11日	あり	常勤
常 務 理 事	薮 島 純 一 郎	令和3年6月11日	あり	常勤
理 事	野 村 稔	令和3年6月11日	なし	非常勤
理 事	上 野 守 生	令和3年6月11日	なし	非常勤
理 事	小 杉 丈 夫	令和3年6月11日	なし	非常勤
理 事	久 保 庭 啓 一 郎	令和3年6月11日	なし	非常勤
監 事	上 野 紘 志	令和3年6月11日	なし	非常勤
監 事	太 田 睦	令和3年6月11日	なし	非常勤
評 議 員	岡 野 或 男	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	北 澤 一 男	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	金 子 ゆ か り	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	小 澤 澄 夫	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	鈴 木 照	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	辰 野 守 彦	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	大 岡 哲	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	戸 矢 博 道	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	岡 本 昂	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	原 田 穰	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	中 村 清 次	令和元年6月18日	なし	非常勤
評 議 員	篠 田 紘 明	令和元年6月18日	なし	非常勤
奨学生選考委員	尾 崎 洋 二	令和元年6月18日	なし	非常勤
奨学生選考委員	佐 藤 次 郎	令和元年6月18日	なし	非常勤
奨学生選考委員	須 賀 恭 子	令和元年6月18日	なし	非常勤
奨学生選考委員	八 木 尚 志	令和元年6月18日	なし	非常勤

役 職	氏 名	就任年月日	給与	勤務
奨学生選考委員	根 本 則 道	令和元年6月18日	なし	非常勤

(注) 評議員の渡辺英子氏は、令和4年11月1日に辞任しました。

3. 許認可に関する事項

該当事項はありません。

以上